

## 取り組み紹介書

施設 聖隷浜松病院	団体名 読影レポートの未確認防止検討部会
--------------	-------------------------

### 【タイトル】画像診断レポートの未読影防止システムの確立

#### 【課題】

病理レポートの未読影防止の仕組みが確立された後、当院安全管理室では、CT 画像レポートに関する未読影防止システムの不在のリスクを認識していた。ほぼ 同じころ 2017 年から 2018 年にかけて大学医学部附属病院を中心とした多くの医療機関において画像レポートの未確認に起因する悪性腫瘍診断遅延の医療事故が数多く報告され、大きな問題として取り上げられた。

#### 【目的】

病院安全管理委員会では、この問題の重要性を認識し、「読影レポートの未確認防止検討部会」を 2017 年に発足させた。増井部会長を中心に、読影レポート未確認を原因とした診断遅れ患者の発生を防止することを目的とするシステムが考案・作成された。

#### 【方法】

重要な所見のあった読影レポートに関しては、主治医とその担当の診療部長に対して、リマインド通知をデスクネット配信することによりレポート未確認を防止している。

#### 【結果・効果】

本システムが稼動されてからは、読影レポート未確認を原因とした診断遅れ患者の発生は確認されていない。本システムは、当院の医療の質向上に大きく貢献すると同時に、数多くの偶発腫瘍の早期発見をもたらしている。

#### 【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】

